

労働者保護ルール改悪反対学習会開催! 改悪を許さない!



JR総連は10月28日、参議院議員会館会議室において「労働者保護ルール改悪反対」学習会を開催し、加盟各単組から80名が参加した。

高木副委員長の司会ではじまり、冒頭たしろ参議院議員より挨拶をいただいた。たしろ参議院議員は「労働者派遣法、安保関連法が数の力によって成立させられた。これらをなきものにするためには、国民の声を受け止める勢力としての野党協力が必要。連合・JR総連の仲間と共に闘っていく」と決意を述べた。

続いて連合・新谷副事務局長から「労働者保護ルール改悪の動向と対応について」の講演を受けた。産業界優先で進められた労働者派遣法改悪の問題点とこれから労働組合として取り組む課題、そして更に政府が進めようとしている解雇規制の緩和をはじめとする労働基準法等改悪を阻止するたたかいが提起された。その後5名から質問があり、新谷副事務局長よりそれぞれに考え方が示された。

最後に武井委員長よりお礼と決意が述べられ、学習会を終了した。JR総連は労働者保護ルール改悪に反対し、連合に結集する仲間と共にたたかっていく。

国交省・環境省・民主党に要請!

JR総連・JR貨物労組 概算要求・税制改正で要請行動!

10月23日、JR総連・JR貨物労組は概算要求事項と税制改正事項について、国土交通省と環境省、そして民主党企業団体対策委員会に要請を行った。

国土交通省では藤田鉄道局長に要請を行い、意見交換を行った。武井委員長、たしろ参議院議員より挨拶を行い、松村副委員長より趣旨説明を行った。その後鉄道局長より丁寧な考え方が示された。最後に相澤委員長よりお礼が述べられ国交省との意見交換を終了した。

続いて環境省へエコ関係、雪氷輸送などについて要請し、意見交換を行った。民主党への要請では前田武志参議院議員と小宮山泰子参議院議員に要請を行った。JR総連は、単組の要求の実現に向け、たしろ参議院議員、単組と連携し取り組んでいく。



鉄道局長へ要請



民主党へ要請

JR総連 北陸新幹線開業後における検証および 北海道新幹線開業における検証会議を開催!



して進めるべき道を決めていく」と挨拶がされた。

続いてたしろ参議院議員より「TPPによりJRにどのような影響があるのか検証しなくてはならない。安部内閣連法が成立した。労働諸法制が改悪され、格差拡大で自衛隊に入る人がでてくる。そんな流れを変えなくてはいけない。その1歩が参議院選挙、頑張っていく」と挨拶があった。

各単組から問題点や危惧する点などを出し合い、全体化をはかり、その後の国土交通省との意見交換に臨んだ。国土交通省からは8名が参加、資料説明の後に意見交換を行った。

JR総連は、この日の会議を踏まえ国土交通省に要請書を提出していく。各単組と連携し、政策課題の解決に向け、たしろ参議院議員とともに頑張っていく。



10・19国会前集会 憲法違反の 戦争法を廃止に!



戦争をさせない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会主催の10・19国会正門前集会に9,500人が結集し、「戦争法廃止」と「安倍内閣退陣」の声で国会前を埋め尽くした。

JR総連も在京単組とともに参加し、怒りの声をあげてきた。

主催者代表から「国民は餅を食ったら忘れると自民党議員が言っているようだ。臨時国会も開かず逃げ回り時間稼ぎをしている。我々は餅を食うが絶対にあの日には忘れない」と挨拶した。

安保関連法成立から1ヶ月がたったが、私たちは絶対にあの9月19日を忘れない。毎月19日は国会前で集会が開催される。安保関連法を廃止するため、反対するすべての仲間と連帯してたたかっていく。

JR総連議員団会議
国交省との意見交換と

第25回全国会議を開催！

10月15日、JR総連議員団会議は参議院議員会館で国土交通省との意見交換を行った。国土交通省より「地域活性化における鉄道の役割」と「地域公共交通の活性化及び再生について」考え方が示され、それに基づき地方の抱える課題や公共交通のあり方など積極的な意見交換となった。

翌16日は第25回全国会議を開催した。冒頭、高橋会長より情勢と課題が提起された。続いてJR総連・武井委員長、たしろ後援会・千葉会長、美世志会・山田さんが挨拶を行った。

1年間の方針と新役員体制を確立し、さらにたしろ参議院議員を議員団全体で応援していくことを確認し全国会議は終了した。



役職名	氏名	議会名	単組名
顧問	松本 敏雄		JR東労組
〃	田城 郁	参議院議員	
団長	高橋 美奈雄	高崎市議会	JR東労組
副団長	日角 邦夫	函館市議会	JR北海道労組
〃	宮川 寿	盛岡市議会	JR東労組
〃	楠 達男	関ヶ原町議会	JR東海労
幹事長	羽田 房男	福島市議会	JR東労組
幹事	小笠原 直治	安平町議会	JR北海道労組
〃	秋村 光男	青森市議会	JR東労組
〃	矢田 松夫	山陽小野田市議会	JR西労

共に死刑を考える
 国際シンポジウム

**たしろ参議院議員
 死刑廃止を訴える**

10月22日、衆議院第一議員会館・国際会議場において共に死刑を考える国際シンポジウムが開催され、JR総連は在京単組と共に参加した。主催者代表の挨拶の後の基調報告では写真家のトシ・カザマ氏から「世界から取り残される、日本の死刑制度」と題して死刑囚や電気椅子など写真を使い、死刑の廃止が訴えられた。

たしろ参議院議員は、「ヘイトスピーチの横行や差別がまかり通る風潮と死刑廃止が遅れている現実は無関係ではない。戦争ができる法律もつくられた。人の命と尊厳を守るために国政の場で死刑廃止を訴えていく」と決意を述べた。

最後に生命山シユバイツァー寺の古川さんの閉会の挨拶でシンポジウムは終了した。



発言する たしろ参議院議員

**11・1大集会に
 2,500名が結集！**

JR東労組は、11月1日、日比谷公会堂において、憲法改悪反対！歴史認識を明確にし、「平和政策」を実現する11・1大集会を開催し、JR総連各単組の代表も参加した。

集会は青年部による朗読劇と合唱が始まり、主催者を代表して吉川委員長は「青年部を中心に集会をつくった。今年は終戦70年、若い人はついでこないと叫んだ権力の狙いをさらに押し返す。そして我々は戦争をさせない。安保関連法を廃止させる、民主主義をこの手に取り戻す。そのために労働者の連帯を強化していこう」と挨拶した。

集会の第1部は青年部の進めてきた4つのプロジェクトから提言が報告され、その平和提言をたしろ参議院議員に託した。

第2部では村山元首相のビデオメッセージと琉球大学高島名誉教授の「鉄道現場から世界とりわけ東アジアとの共生に向けた取り組みを考える」という講演を受けた。

その後たしろ参議院議員の国政報告では「みんなの思いを受け止め国政で反映していく。11月1日は美世志会逮捕の日、えん罪のない社会をめざし国政でたたかう」と決意が述べられ、アフガン支援の経験にふれながら現地に立つ大切さを訴えた。

JR総連は平和な社会の実現をめざし、各単組と連携し取り組んでいく。



平和提言を手渡す

